

バスケットボール

大会名称: 第73回国民体育大会 バスケットボール競技会
(福井しあわせ元気国体2018 バスケットボール競技会)

開催場所: 福井県営体育館 Mコート

試合区分: No. 45 少年男子 準決勝

期 日: 2018(H30)年10月4日(木)

開始時間: 10:00

終了時間: 11:30

主審: 松本 究(佐賀県)

第1副審: 稲葉 威(茨城県)

第2副審: 浮池 亮太(福井県)



福岡 (九州)	○ 82	15 — 17 31 — 18 14 — 15 22 — 24 — — — — —	● 74	千葉 (関東)
-------------------	----------------	---	----------------	-------------------

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4	*	松崎 裕樹	19	3	4	2	1	4	1
5		古橋 正義	0	0	0	0	0	0	0
6	*	河村 勇輝	13	2	3	1	2	9	5
7	*	浅井 修伍	20	2	7	0	2	4	0
8		木林 優	0	0	0	0	0	1	0
9		小川 麻斗	0	0	0	0	0	1	1
10		横地 聖真	1	0	0	1	0	2	0
11	*	中田 嵩基	13	3	2	0	1	3	5
12		土家 大輝	2	0	1	0	0	0	1
13		ティアライツフ	8	0	4	0	2	6	1
14	*	クペマジョセフ スティーブ	6	0	3	0	4	9	0
HC 井手口 孝 / TEAM									
合計			82	10	24	4	12	39	14

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4		福脇 佑真	2	0	1	0	0	1	1
5	*	兼重 パトリック	11	1	4	0	0	7	1
6		薬丸 侑平	0	0	0	0	0	0	0
7	*	工藤 貴哉	5	1	1	0	4	5	1
8		大澤 碧生	16	4	1	2	1	2	1
9	*	大川 颯斗	12	2	3	0	3	3	5
10	*	濱野 裕稀	10	0	5	0	2	2	3
11		飯塚 環	6	2	0	0	1	1	0
12		松岡 龍磨	0	0	0	0	0	0	0
13		楊 博	0	0	0	0	0	0	0
14	*	ダオウダ ジャギテエ	12	0	6	0	3	16	4
HC 近藤 義行 / TEAM									
合計			74	10	21	2	14	37	18

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファウル RB: リバウンド AS: アシスト

第1ピリオド、千葉はゾーンディフェンス、福岡はハーフマンツァーで試合開始。序盤、両チームは連戦の疲れか、シュートが決まらず開始2分間ノーゴール。千葉は#5、#9の3Pを中心に加点し、12-5とリード。対して福岡は、#13のインサイド、#4のドライブや速攻、#8、#11の3Pで追い上げ、17-15の千葉2点リードで第1ピリオド終了。

第2ピリオド、開始すぐに福岡#4の3Pが決まり17-18と福岡が逆転。福岡は#6を中心とした固い守りからの速い展開で#6、#7が得点。また#11、#13の3Pも決まり出し、残り1分33秒29-40となったところで千葉がタイムアウト。その後、千葉#8、福岡#6が3Pを入れ合い、35-46で福岡11点リードで前半終了。

第3ピリオドに入り、11点差を追いつきたい千葉は3Pを中心に反撃を試みるが、福岡#4、#7のアウトサイドシュートが要所で決まり点差が縮まらない。50-60の福岡10点リードで第3ピリオドが終了。

第4ピリオド、千葉は#9、#14を中心に得点。対して、福岡は#6、#7の速攻を中心に得点し、点差を縮まらせない。67-79の残り2分40秒で千葉はタイムアウト。ファウルゲームに出てなんとか追いつこうと試みるが74-82で福岡の勝利となった。福岡の堅実な試合運びだけでなく、最後まで諦めず全力で闘った千葉も称えたい。

担当者: 浜本 能弘((一社)福井県バスケットボール協会) (公財)日本体育協会、(公財)日本バスケットボール協会、(一社)福井県バスケットボール協会

